

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)						
研究番号	2025-0057	主たる研究機関	滋賀大学		分担研究機関	なし
研究題目	味蕾関連遺伝子多型が処方変更に与える影響の解明			研究期間 (西暦)	承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日	
実施責任者	大西 龍貴		所属	データサイエンス・AIイノベーション活用推進センター	職位	特任助教
研究目的と意義	【研究目的】味覚に関する遺伝子が薬の服用に与える影響を調査します。 【意義】薬の服用の個体差に関連する遺伝子がわかると、適切な薬の選択や服薬支援につなげることが期待されます。					
研究計画概要	横断研究で後ろ向き観察研究です。「2.3.4 地域住民コホート 特定健診相乗り型 ベースライン調査 67K」と「 3.1.1 地域住民・三世代コホート宮城(20歳以上) ベースライン・第2段階調査 86K」の遺伝子情報と健康調査情報・医療情報の仮名加工された情報を利用します。 ベースライン調査と第2段階調査の双方に参加した縦断的データがある方を解析対象とし、調査票(生活)情報の服薬データの2時点比較により処方変更を定義します。統計解析は交絡因子(年齢、性別、既往歴、併存疾患、生活習慣、社会経済指標等)を調整した多変量回帰分析を予定しています。非線形性・相互作用を考慮するために交差検証で再現性を評価します。候補遺伝子解析で得た知見の補強および新規候補を探索します。					
利用するもの	対象: ☒ 地域住民コホート調査 ☒ 三世代コホート調査 試料: ☐ DNA ☐ 血漿 ☐ 血清 ☐ 尿 ☐ 母乳 ☐ 単核球 ☐ EBV不死化細胞 ☐ 増殖T細胞 情報: ☒ 基本情報 ☒ 調査票情報 ☒ 検体検査情報 ☒ 特定健康診査情報 ☒ 生理機能検査情報 ☐ メタボローム解析情報 ☐ マイクロバイオーム情報 ☐ 認知・心理検査情報 ☐ MRI画像解析情報 ☐ MRI画像情報 ☐ 全ゲノム解析情報(全て) ☐ 全ゲノム解析情報(特定領域) ☐ SNPアレイ情報(全て) ☒ SNPアレイ情報(特定領域) ☐ その他の情報(介護保険情報、医科レセプト情報)					
期待される成果	薬の服用の個体差に関連する遺伝子がわかると、適切な薬の選択や服薬支援につなげることが期待されます。					
これまでの倫理審査等の経過および主な議論	研究計画は2026年3月10日に滋賀大学研究倫理委員会で課題名「味蕾関連遺伝子多型が薬剤感受性(服薬継続・用量調整)に与える影響の解明(B250021)」として承認されました。					
倫理面、セキュリティー面への配慮	研究は個人情報保護および研究倫理(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針)を遵守して規定の環境で解析されます。解析に用いるPCは、パスワードをかけたうえでインターネットに接続せずに使用されます。					
その他特記事項						
(事務局使用欄)						
*公開日:2026年7月30日						